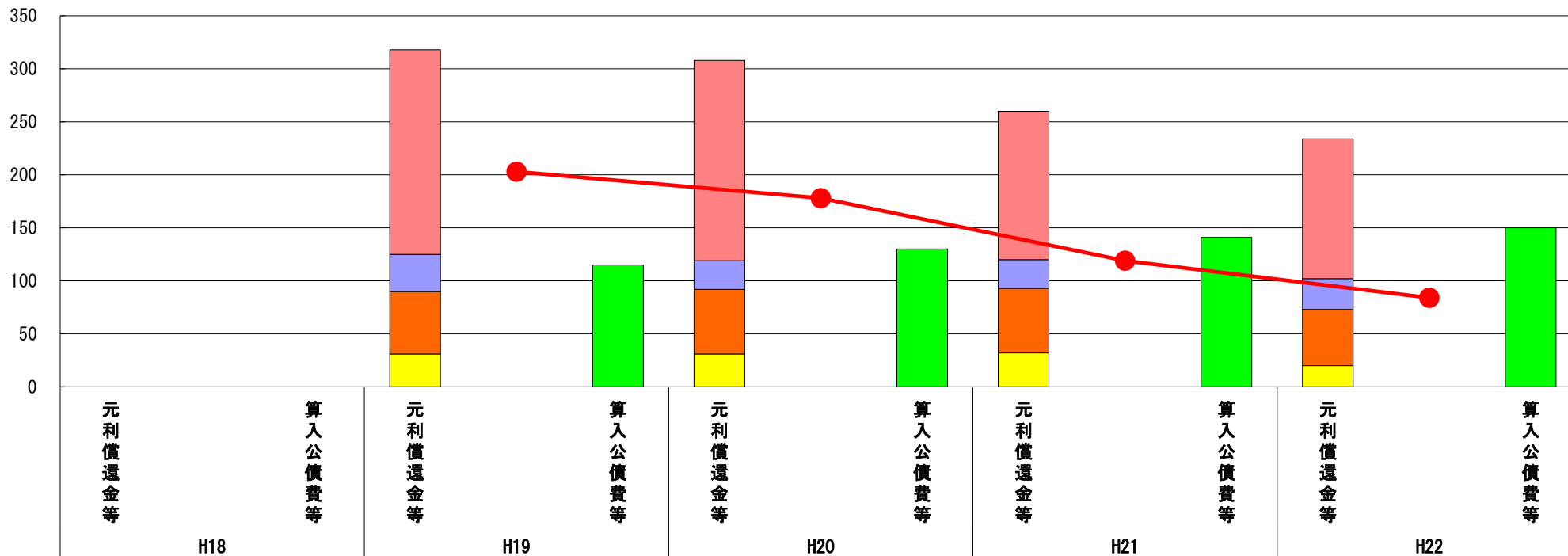


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

愛知県飛島村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	193	189	140	132	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	35	27	27	29	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	59	61	61	53	
	債務負担行為に基づく支出額	-	31	31	32	20	
	一時借入金利子	-	-	-	-	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	115	130	141	150	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	203	178	119	84	

分析欄

元利償還金は新発債を抑制していることから毎年減少をしています。また、公営企業債の元利償還金に対する繰入金や組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等については、あまり変動なく推移しています。今後とも村債発行の抑制を基調とし、比率の更なる改善を図ります。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。